



第13号 (2013/3/8)

広島県福山市中之町4-3-14
Tel&fax: 084-917-5937
e-mail: info@comirune.com



Community Research Center

**都市農業を考へる連続講座 第5回
都市農業とアーバンデザイン**



1月26日、福山市立大学都市経営学部教授の奥山健二さんに表題のテーマでお話しいただきました概要です。

1. はじめに

まず最初に、札幌にあるすてきな「自宅や暖房システム、菜園等の写真を見せていただきました。70坪の家全体をオイルで循環させるシステムで全館暖房。家のまわりにはキジやキタキツネが出没し、菜園ではジャガイモ、トマト、ナス、ズッキーニ、サクラソノボなどが収穫され、家の裏の真駒内川では桜鱒、岩魚、ウグイなどが釣れるとか。

『21世紀になると、物を売ることも食料を輸入する金もなくなる』と当時の宮沢首相にいったら鼻先で笑われたが、このことが現実問題となっている。

2. 日本農業の現状



①平均的な米農家の売り上げは年300万円と、労働に見合った所得が得られない。②広辞苑によると百姓とは「田舎ものを罵っている言

葉」と記され、世の中の農業に対する見方が低いことを示している。③農業が世襲化され、産業としての活力が弱まっている。また、現在農家の平均年齢は60歳で、担い手がない。

百姓とは「人間の健康をまもる仕事」と表現しても良いのでは、と思っている。

3. 新しい農業の取り組み

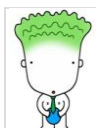
〈1〉CSA



CSAはコミュニティー・サポーターズ・アグリカルチャーの略で地域支援型農業ともいわれるもので、農家が作付け前に消費者から出資金を募集し、年間の農業経営に必要な資金を確保し、収穫された作物は会員に分配するもの。

この近辺では神石高原町での取り組みがある。2012年に市立大学の教職員約20名でピオーネ、栗などの栽培を行った。会員は一人500円を出資。作業は時間がある人が参加して共同で行い、収穫物は分配した。

〈2〉パーマカルチャーの取り組み



1979年、オーストラリアのBill Morrisonの提唱した「人間にとつての恒久的持続可能な環境を作り出すためのデザイン体系」という概念。フランスでは「文化・芸術は永続可能な農業と倫理的な土地利用という基盤がないと長くは続かない」という。この基盤は、自然のシステムの観察と昔からの農業のやり方の中に含まれている知恵と現代の科学的・技術的知識である。

ワシントン・フリップ・シールという先生は

建築家達と造船を学んだ後、6〜8人でフランスのボルドー、ブルターニュ地方の農家を廻って農業の手伝いをしながら、かつての運河を利用した旅を実施した。

このように、水、土、植物、水産、建築、人々、経済、都市と農村、これら全てを考慮・組み合わせることで地域全体をデザインすることをパーマカルチャーという。

4. 住み心地の良い都市のための都市農業

〈1〉都市農業の役割

都市計画者は、都市化する世界が直面する社会的、環境的問題への独創的な解決策を模索し、科学者は、都市の生態系に不可欠な生態系サービス(食料、水管理など)を提供してくれるものと期待している。

例えば、都市農業は、日本の農業生産量の1/3を担い、日本の農家の1/4を占めている。また、東京では都市農業が都市住民の70万人に野菜を供給している。しかし、農家所帯数は60%減少している。

〈2〉都市農業は都市住民と農業とのふれあいの場

立川市での取り組み例では、①市民農園の拡充(リクリエーション、食育、健康づくり、自然とのふれあい、リハビリなど)、②体験農園の推進(農家の指導の下、種、苗、肥料、資材、農具などが用意され、講習会など農家の指導を受けながら収穫をする。農家は税制優遇や補助金、労働力不足の解消などメリットがある)、③学童農園、食育の推進(2006年作成の食育推

進基本計画に基づいて始められる。農業者、行政、学校の協力が必要)、④福祉やセラピー機能と結びついた農業の展開(高齢者や障害者の健康改善と自立支援、農家の人手不足に役立つ)、等がすすめられている。

5. 大規模なアーバンデザイン

奥山先生は丹下健三建築設計研究所にも在籍され、大規模な都市計画にも取り組まれています。その一例として中国江蘇省にある連雲港市での中央に森が、周辺に農地がある1.5マイル平方の工業地帯をつくる計画についてお話がありました。

参加者4名でしたので、話の途中でそれぞれが質問や疑問を挟みながらの楽しい学習会でした。連雲港市での計画については、また日を改めて、もつと沢山の人でお話を聞く機会が持てたらいいな、と思いました。

気軽に集って楽しませよう

第6回 童謡を楽しむ会



2月20日(水)、ハガキでミニたこを作り、仁伍広場でたこ揚げをしました。あいにくグループホームからの参加はなく、参加者は大人4人、子ども4人で少人数でしたが、楽しくたこ揚げが出来ました。おまけにランドゴルフに来ていらした方から、子どもさん達は焼き芋を1本ずつもらいご機嫌でした。その焼き芋やみかん、リンゴなどをいただきながら、子ども

もは何故よく動き回るのだろうか、と考えたりしました。子どもさん達も半年経って慣れてきたのか、良くおしゃべりが出来ました。



編集後記



この所、耐震診断の書類作成などで忙しくさせて頂いています。青汁を優雅に飲む余裕もだいぶなくなってきました(笑)

冬が終わって、少しずつですが暖かくなってきましたね! ようやく外で気持ちよく遊べる季節になってきたので、子供も大喜びです!

4月途中からは、私も平日は毎日事務所におりますので、是非お気軽にお立ち寄り下さい!

3月の行事予定

3月13日(水)

第7回 童謡を楽しむ会

・場所: ルネッサンス研究所集会室

・時間: 10時~11時30分

・講師: 元幼稚園園長の今川美代子さんと江藤朝子さん

・内容: 『春の歌を歌いましょう』

春になるとおばあちゃん、おかあさんと歌いたくなる歌はなんでしょうか?

これからも歌いつないでいきたい歌をみんなと一緒に歌いましょう!

・参加費: 500円

4月6日(土)

桜の花見の会

・場所: 府中公園 広島県府中市出口町

0847 43 7135(府中市観光協会事務局(府中市産業活性化課内))

・時間: 11時 現地集合

・内容: 待ちに待った桜の季節がやってきました!

みんなでお花見に行きませんか?

・参加費: 1000円

*いずれも申込みは前日までに、FAX・もしくはメールでお願いします。

くはメールでお願いします。

・参加費: 1000円

*いずれも申込みは前日までに、FAX・もしくはメールでお願いします。

・参加費: 1000円

*いずれも申込みは前日までに、FAX・もしくはメールでお願いします。

くはメールでお願いします。

くはメールでお願いします。

